

## 会 議 録

会議名 (付属機関等名)	川西市参画と協働のまちづくり推進会議 令和 2 年度第 7 回 B 部会		
事務局 (担当課)	総合政策部 参画協働課		
開催日時	令和 3 年 2 月 26 日(金) 午後 7 時 00 分から午後 9 時 00 分		
開催場所	ウェブ会議システムにより開催 (傍聴場所:川西市役所 4階 庁議室)		
出席者	委員	田中晃代、横谷弘務、延命寺陽子、金剛丸朋子、中村佳子、 田中真優、堀田大樹、山澤剛、吉尾豊	
	その他		
	事務局	総合政策部参画協働課 副部長兼課長、課長補佐、 同課主任 2 名	
傍聴の可否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の 場合は、その理由			
会議次第	<p style="margin-left: 40px;">1 開 会</p> <p style="margin-left: 40px;">2 議 事</p> <p style="margin-left: 40px;">B 部会のテーマ</p> <p style="margin-left: 40px;">「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い 方を巻き込んでいくには」</p> <p style="margin-left: 40px;">3 閉 会</p>		

19:00～

## 1 開 会

## 2 議 事

### B 部会のテーマ

「(地域・市民活動に対して、)やる気や興味・関心が薄い方を巻き込んでいくには」

### ○部会長

- ・ 本日が最後の部会となる。3月17日の全体会に向けて、各委員に作成いただいた提言書案について議論したい。
- ・ 吉尾委員から説明いただきたい。

### ○委員

- ・ 皆さんからアドバイスや意見をいただきたい。勝手に作っている部分もあるので、適宜修正していく。
- ・ 提言書を修正してだけでなく、発表者やタイムスケジュールについても決めておきたい。
- ・ 私だけではなく、中村委員など他の委員が作成された箇所もあるので、担当された委員から適宜説明いただきたい。
- ・ コンセプトは堅苦しくないこと、見やすいことである。
- ・ まず、目次だが、全部で7項目ある。まず、最初に「要はコレだ！」という結論を示して、次にトリカワカードのできた背景、具体的なトリカワカードのPR・説明の順でまとめている。
- ・ 最初の心得5箇条は、山澤委員が提案し、中村委員がデザインを考えてくれた。

< 1 要はコレだ！心得5か条 >

### ○中村委員が提言書案に基づき説明

### ○部会長

- ・ 「事」と感じて表現している理由はあるのか。

○委員

- ・ 5か条なので、言い切り方の文体なのかと思う。

○委員

- ・ DXについて、DSSXという言葉を知った。DX(デジタルトランスフォーメーション)を活用して社会課題をみんなで考えようという意味だそうだが、有名な用語なら組み込んだら面白いかなと思ったのだが。

○部会長

- ・ これは誰を対象としているのか、誰が見るのかという視点が大切だ。用語集などを付けて詳しく説明するのか、あえてパワーワードを使って読む人を引き付けるというのも一つの方法だ。
- ・ ICTで暮らしが変わってきていることは事実だが、対面が大切な場面もある。

○委員

- ・ 文字で見ているだけではイメージがわからなかったが、この提案書になって、このビジュアルを見て、これ以上説明や文字は増やさない方がいいと思った。

○委員

- ・ 全体のストーリーからこの5か条が飛躍していないかが心配だ。この結論が最初に来て、この後に結論繋がる説明があるが、そことつながっているかが心配だ。
- ・ 5か条というスタイルはわかりやすいと思う。

○委員

- ・ そのとおりだと思う。一旦提言内容を確認し、その後もう一度この5か条が提言内容とリンクしているか確認したい。

< 2 私たちの考えや意見からトリカワカードが出来た背景 >

○吉尾委員が提言書案に基づき説明

< 3 気になるぅ～！トリカワカード宣伝チラシ >

○委員

- ・ 2で説明した背景から誕生した「トリカワカード」を広めていくチラシも考えている。LINEのトーク調のデザインを採用している。詳しくはデザインされた中村委員から説明してもらう。

○委員

- ・ きんたくん(主催者側)の悩みを聞いてあげている人から「トリカワカード」というものがあるよという、よくある話の構図をLINEで表現している。カードの説明を長々書くよりも、とっかかりとしてはこの程度で十分と考えた。

○部会長

- ・ 宣伝チラシはいいと思う。LINEは中々面と話せない込み入った話を、ポンと気軽にまとめて伝えられて、その良さが生かされていると思う。

○委員

- ・ とても新鮮に感じている。こういうやり取りが若い方とできたら素晴らしいし。

○委員

- ・ では、この方向性で進めてみる。

< 4 トリカワカードを説明しますね >

○延命寺委員が提言書案に基づき説明

- ・ 基本は堀田委員が作成されたものから一部ルールをアップデートしている。一般のカードゲ

ームの説明書のイメージで資料を作成している。

- ・ アップデートした主な内容は、次のとおり。
- ・ 白紙カードの枚数を明記
- ・ リソースカードを 10 枚から 8 枚に
- ・ カケルカードを真ん中において、各自が選んで使えるように
- ・ ポイント制を導入して、勝敗を決める

#### ○委員

- ・ カケルカードは誰とも被っていないものを選べばポイントが高くなるので、最後に答えた人が有利になってしまうので、難しいカケルカードに高得点を与え方がいいと思う。
- ・ カケルカードは他の方へのフィードバックに使って自分の意見には使わないのではなかったか。

#### ○委員

- ・ 私は自分の意見に使うイメージだったが、他の人に使うのも面白いと思う。
- ・ カケルカードのポイントはカードの裏に隠しておくのも一つだ。

#### ○部会長

- ・ キセラカフェで一度やってみたことで色々ルールも改良されてきた。提言書の背景の中に、キセラカフェで実証実験が入っていた方がいいと思う。

#### ○委員

- ・ キセラカフェの記述は追加する。ルールについては、延命寺委員のまとめてもらった内容を堀田委員の資料に落とし込んで完成だろうか。
- ・ イメージとしては、提言書の中にパワーポイントの資料を組み込んでしまうのではなく、添付資料で別につけるイメージを持っている。

○委員

- ・ それでいいと思う。延命寺委員が説明を組み込んだものを最終チェックさせてもらう。

< 5 可能性しかない、今後の展開や課題 >

○吉尾委員が提言書案に基づき説明

○委員

- ・ 子ども向けということで、子どもの参画を促すという意味で、「学校でトリカワカードをやってみて、そこで出たアイデアを一つ選んで、学校で実際にやってみる」というのは面白い。そこでのお悩みカードは、学校の中での子ども達の悩みなど盛り込むと面白い。

○委員

- ・ コンペみたいに競い合ったり、アイデア集ができていくといいと思う。

○委員

- ・ PTAの役員を終える人にお悩みカードを書いてもらって、次に新しく役員になる人たちのアイズブレイクとしてそのお悩みカードを使ってみるというのも一つだ。

< 1 要はコレだ！心得5か条 > の再確認

○委員

- ・ ここまで提言内容を確認してきたうえで、最初の5か条が提言内容とリンクしているのか確認したい。

○委員

- ・ 1番については、LINEのトーク調のチラシがまさにコレだと思う。太字のタイトルはこのままで、細字の説明文をどうするだと思う。

○委員

- ・ 2番は、まさにトリカワカードのことなので、そのままです。

○委員

- ・ 3番の広報活動はこれまでも実施するありきで、話してきた。そのやり方として、1番の工夫がある訳だが、あえては言ってこなかったことだ。

○委員

- ・ 地域のイベントなどで広報活動はきっとやっているはずだが、掲示板や回覧板などでやっているだけで終わっているように思う。もっと「積極的」ということが必要なのではないか。

○委員

- ・ 「必ず」を「積極的」に直すべきか。

○委員

- ・ 3番の内容は、確かにこれまで前提として議論してきたことは少なかったと思う。
- ・ ただ、このトリカワカードやこの部会の「とりあえず」というスタンス、考えるよりとりあえずやってみることが大事だと思っている。
- ・ もう一つは、考え込まず「中途半端」の方が、人をたくさん巻き込めるということ。この点が、トリカワカードを普及させるために、人に参画してもらうために、必要な最も重要なことだと思っている。
- ・ なんでもかんでも行政が100%のものを市民に下ろしてくるというのではなく、市民参画を育てていくためには、「とりあえず」と「中途半端である」という要素が、この5か条の中に含まれているのであれば、いいと思う。
- ・ 4や5は一定必要であると思うので、この3番を差し替えることができるのであれば、議論したい。

○委員

- ・ そこまで、細かく考えていないので、差し替えていいと思う。

○委員

- ・ 「中途半端でいいから、とりあえずやってみること」でどうだろうか。

○委員

- ・ よく「余計なことかもしれない」や「話が脱線するかもしれない」と言っはなすことこそ最も大事なこともかもしれない。「といあえず」「深くは考えていない」といったことが許される雰囲気、カードゲーム、市への提案でありたい。

○委員

- ・ 「中途半端でいいから(とりあえず)動いてみることを太字で、「未完のトリカワカードを参加者が作り上げる、バーベキュー型ツール」を細字では、どうだろう。

○委員

- ・ 「中途半端でいい、未完のトリカワのように」を細字に、「とりあえず失敗を恐れずやってみることを太字にしてはどうか。

○委員

- ・ 4番だけ「コミュニティ活動」に限定しているので、抜いてバランスを取ってみてもいいかも。

○委員

- ・ これって、どこまでを対象にしているのだろうか。タイトルに何の心得かを入れないとよくわからない。



#### ○委員

- ・ 「やる気や興味・関心がない人を巻き込んでいくには、要はコレだ！」っていうストーリーだと考えていた。

#### ○委員

- ・ それでは、タイトルにそういったフレーズを入れていこう。
- ・ 5番については、SNSやYouTube、ダウンロードを取り入れるという点では、合っていると思う。

#### ○委員

- ・ 例えば、DXを直接説明するよりも「YouTubeやSNS」といったヒントを入れた方がいいと思う。

#### < 全体会に向けた準備 >

- ・ 5か条は中村委員が修正をする。
- ・ 吉を委員は、キセラカフェの内容を追加し、全体的な体裁を整える。
- ・ チラシは中村委員が手直しする。
- ・ トリカワカードの説明用のパワーポイントは、延命寺委員が一旦修正し、堀田委員が最終チェックする。
- ・ まとめは、田中部会長が作成される。
- ・ トリカワカードは、キセラカフェで作成したものを提出する。ただし、ポイントと付けたいので、その部分は修正する。
- ・ 発表者は委員の出欠状況を確認してから、全体会当日までに決定する。

### **3 閉 会**

- ・ 次回の全体会は、3月17日(水)の19時から開催予定。